

クラスだより

1 年生

初めての棒針編み ～手仕事の時間より～

3 学期最初の手仕事前、教室は興奮に包まれていました。自分たちで作った棒針を使つての編み物が始まるのです。その上、今日の先生は 4 年生のお兄さんお姉さんたち。ぴよこぴよこ体を弾ませて、「楽しみ!」「早く編みたいなあ!」「4 年生来ないかなあ」と嬉しそうです。

さて始業。教室に入って来てくれた 4 年生も、待っていた 1 年生もなんだかちょっぴり恥ずかしそうです。照れながらの「よろしくお願いします」のごあいさつが可愛らしくて、教員たちの頬がゆるみました。そうして 4 年生は 1 年生ひとりひとりの横についてくれ、マンツーマンの棒針レッスンが始まりました。1 年生は編み目を食い入るように見、4 年生は 1 年生の手を丁寧に動かしてくれています。「のぞこう のぞこう まどからのぞこう ふんわりはねが かかったら そとこちらへ つれといで さあできた」このような言葉を唱えながら、ゆっくり一目一目進んで行くのですが、皆大変熱心で、大変慎重。「あ、ちょっと待って」「もう一回やってみようね」と小さな先生たちは細やかに生徒を指導してくれています。一目編み終わると、どこかから「ふう」とため息も聞こえてきます。「できた!」という声もあちらこちらで聞こえてきました。賑やかなようでも、全員が一生懸命に集中して仕事に向かっています。その熱い空気で、教室は満たされていました。

授業開始から約 30 分でレッスンは終了しました。1 年生は編み方を体得してにこにこ笑顔、4 年生は「すごいなあ」と声をかけてくれたり頭をなでてくれたりして笑顔です。「ありがとうございました!」のあいさつは充実感に満ち、この短時間でなんだか子どもたち全員が少し大きくなったような気がしました。

楽しい時間の後には、1 年生の夢も広がります。「4 年生になったら 1 年生に教えてあげたいな!」

(1 年生担任 井上りえ)